

第32回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

令和3年8月4日(水) 9:30~12:15

場所：高知会館 2階 白鳳

出席者

評価委員

森下勝彦(委員長)、宮田速雄、菱沼典子、寺田覚、井瀬潔

高知県

西本私学・大学支援課長、大窪課長補佐、石原主幹、中平主幹

高知県公立大学法人

(法人本部) 中澤理事長、谷脇法人本部長、福田法人副本部長

青木財務部長、島田総務企画課長

(高知県立大学) 野嶋学長、中野副学長、国則事務局長

大野事務局次長、宮脇総務部長、山下財務施設課長

(高知工科大学) 磯部学長、那須副学長、上田事務局長、

福留総務部長、小林財務課長

委員長

令和2年度業務実績報告書の全体概要及び高知県立大学の教育・研究・社会貢献の部分について、高知県公立大学法人から説明をお願いします。

法人本部

・・・説明・・・

高知県立大学

・・・説明・・・

委員長

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

A委員

社会福祉士の国家試験合格率の77.9%について、全国平均は30%に満たないため、2倍以上というとても高い合格率ではあるが、他の部門、例えば看護師や保健師などの100%に比べて若干低いのは社会福祉士には何か特殊な要因があるのか。

高知県立大学

社会福祉士は大学生だけではなく、専門学校も受験するため、全国的に低い傾向がある。その中で高い合格率を出せているというのは、社会福祉学部の教員たちの指導によるものだと思っている。

社会福祉士の国家試験の全国的な合格率が、他の資格に比べて低いため、本学の合格率も他の資格に比べて低くなったと思われる。

B委員

(P31) 年度計画には、カリキュラムの分析を行い、その結果に基づき、ディプロマポリシーを改善するとあるが、普通はディプロマポリシーがあり、それを実現するためにカリキュラムを作るのだと思っていたが、どのようになっているのか。

高知県立大学	<p>まず、ディプロマポリシーがあって、カリキュラムポリシーだが、昨年、ディプロマポリシーを見直したので、令和2年度は、カリキュラムマップやツリーの見直しに力を入れた。カリキュラムポリシーを見直すことによって、今度は必要に応じて、ディプロマポリシーの見直して循環的に改善を行っているのが、現在の状況である。</p>
B委員	<p>(P35) 地域共生推進士についてだが、学生に学ぶ機会を与えて修了生が7名ということだが、1年間に入学される学生が300名ぐらいいる中で7名というのは当初の計画と比べてどうなのか。</p>
高知県立大学	<p>確かに7名というのは全体の中では少ないが、地域共生推進プログラムは4年間での教育プログラムを立てているが故に、4年生になると受講者が少なくなってくる。さらに今までは受講しづらい状況になっていたが、より多くの学生が受講できるように専門科目を受講することによって、地域共生推進士養成プログラムを受講したことにするように拡大しているところで、地域共生推進士の称号を与える学生が増えていくように全学的に取り組んでいるところである。最近の学生の状況は、必須科目や専門科目は受講するが、選択科目にまで広げていくことに限界があり、そこをどのように突破していくのかが課題である。</p>
B委員	<p>地域の課題を自分が勉強したことで解決したという経験をさせることはとてもいい試みだと思うので、たくさん増やしていただきたい。</p>
C委員	<p>(P12)「地域を知る」から「専門性を生かしながら地域活動に参画する」人材育成を目的とするカリキュラムへと変更するというのは具体的にはどのようなことか。</p> <p>地域共生推進士の数値目標はあるのか。全体の地元への就職率は30%を超えてたと思うのだが、地域共生推進士の7名の就職地域はどこか。</p> <p>(P13) SDGsを意識した活動とはどのようなものか。</p>
高知県立大学	<p>例えば、専門科目の中に新しい科目を一つ設けて、その科目を履修することで、地域学実習Iで学んだことを発展させていき、卒業時には地域の課題を看護学、社会福祉学、文化学、栄養学の知識と統合して、解決していけるようなカリキュラムに変更している。</p> <p>それぞれの就職先については、全員は把握していないが、数人は高知県で就職している。例えば、看護学部の学生については市町村の保健師として働いている。</p> <p>数値目標は、推進士を何名とは設けていないが、今回、地域共生推進プログラムを副専攻化をした。地域共生推進士になるには、4年生の最後の実習を履修しないとイケないのだが、その一つ手前の副専攻を履修した学生は多数いる。本学はライセンスを取得する学部なので、推進士の数を増やすのは困難な状況にあるかもしれないが、副専攻の科目を履</p>

修して地域の課題を解決できる力を身につけた学生を多く輩出していきたい。

SDGsを意識した活動は、教員・学生ともに取り組んでいる。例えば、教員ならSDGsを思考した研究や、あるいは他大学などでSDGsを目標とした講習会を行っている。学生は、中山間に出て、その地域の中で持続性に対しての取り組みを行い、多様な形で展開している。

B委員

(P97) 中期計画には「日本一の健康長寿県構想」の実現に寄与することで長寿が目標となっており、たくさんの取組を行っているが、これらの取組の効果があって長寿になったというのはどのように測るのか。

高知県立大学

日本一の健康長寿県構想の中で、特に高知県地域医療介護総合確保基金活用事業は県で位置づけられている事業であり、健康長寿県構想とこれらの活動は県と協働して行っている。効果に関しては、訪問看護やインターン支援事業などは、具体的な成果は記載していないが、それぞれの活動は、学会で報告を行っている。

日本一の健康長寿まで行けるかということ、個々の事業なため、これらを一定評価していただき、毎年プロポーザルに諮り、県に認めていただきながら継続している。

B委員

評価指標が難しいのかと思っているのだが、何かあるか。

高知県立大学

例えば、再入院率や入院期間率など、訪問看護ならその地域での訪問件数の増加や基金活動事業では毎年何らかの指標を示し、それに基づいて評価をして、次年度続けていくかどうか、評価を受けながら行っている。

B委員

(P82) 年度計画にホームページ等を活用して、研究成果の社会への還元を行うとあるため、ホームページを見てみたが、どこに記載があるのかわからない。

科研費の獲得状況の最新情報が平成30年で止まっているが、令和元年と令和2年は記載できると思うので最新の情報に更新してもらいたい。

高知県立大学

ホームページを至急リニューアルして、成果を還元できるようにする。

B委員

どのような書き方をしたら、社会に還元ということなのか。

高知県立大学

まずは基本的に、研究成果の社会への還元というのは、教育研究、学会活動及び学会発表と考えている。それに関しては、各学部で成果に基づいて学会発表するよう、周知しているところである。県民に対して、親しみが持てる形での成果に関しては、もう少し工夫が必要だと思って

いる。研究活動に関しては、全体的な把握ができるようにホームページを更新していくことは大切なことだと思っているので努力していく。

B委員

同じページにIoPへの参加が特筆すべきものとしてあるのは、これは農業に関係なさそうな大学として、「特筆すべき」という意味か。そうでないような話を昨年伺ったが、どうなのか。

高知県立大学

特筆すべきというのは、次世代型施設園芸農業というのは国の施策として行っているもので、高知大学や高知工科大学と一緒に参加させていただいており、研究の規模という面で「特筆すべき」と記載している。

D委員

地域共生推進士に関して、県立大学としてはとても大きな視点だと思う。副専攻で進めていて、人数が少ないのではという意見もあったようだが、通常の授業をベースにこういった視点を学生に持たせるカリキュラムを検討する予定はないのか。そのような方向性があっても特徴が出るのでは。

(P51)県内就職率が32.3%と、30%以上を維持することができたとあるが、30%以上を維持することが、何かあるのか教えていただきたい。

高知県立大学

地域共生推進士については、共通教育を基盤として進めていたが、共通教育と専門科目とを共同して行っていくよう拡大している。そういう面では専門科目の中で地域の課題を学ぶことによって、履修する学生も増えるのではないかと期待している。

就職率については、30%以上を維持することができたと記載しているが、できれば40%に近づけたいというのが本音で、30%以上を維持することができて必ずしも良かったと思っているわけではない。令和2年度は令和元年度より落ちている。コロナゆえに県内が上がるかと思っていたが低下した。いくつかの要因が考えられると思うので、改善していきたい。

委員長

それでは続いて、高知工科大学の教育・研究・社会貢献について、高知工科大学から説明をお願いします。

高知工科大学

・・・説明・・・

委員長

続いて、第3以降の部分について、法人本部から説明をお願いします。

法人本部

・・・説明・・・

(5分間休憩)

委員長

高知工科大学の教育・研究・社会貢献について及び第3以降の部分に

について、質問があればお願いします。

B委員

(P62) 成績評価について、A評価の割合が前年度から4%減、F評価が4.2%増とあるが、できれば生データで、何から何になったとかはわかるか。

高知工科大学

手元にある棒グラフのデータでは、Aが約5%減って、Fが14%から18%に4%増えている。これらについて、1科目の採点は各担当教員が全面的に責任を持つことであるが、責任を持つからにはAやFがあまりにも多い場合は理由書を提出してもらうようにしている。

B委員

(P63) 新しくデータ&イノベーション学教室を設置したとのことだが、これはデータサイエンスを中心にしたものであるか。

高知工科大学

5年ぐらい前から、この分野はとても重要なので本学の教育に積極的に取り組むべきということで準備をしていた。それで、データ&イノベーション学教室というのは、全学的にこういう教育をするべきであるということと、それ専用の新学群作りたいという思いがあり、その教育をするために、この教室を作った。すでに共通工学系、共通教育としてデータサイエンスの基礎を教え始めている。

文部科学省で承認していると思うが。

B委員

高知工科大学

これは、本学でカリキュラム改革をして、共通科目を作るということなので、特に文部科学省への届出が必要なものではない。大学として新しいカリキュラムを改革することで、教育の提供を始めたものである。

B委員

(P63) 修士課程までを5年で修了できる制度とあるが、これは入学時に決めて入学するのか。

高知工科大学

学生に指導はするが、入学して3年半で4年分の単位を取得できる見込みのできた学生に関して、普通の授業単位とは別に、卒論に変わる研究活動をやれるという学生は申告をして、3年半で学士を取得し、1年半で修士を取得する。これからの人材を考えると特に工学系は、グローバルで戦っていけない学生は、ローカルにも戦っていけないと思っているので、最低限、修士までは出るようにしてほしい。いま現在は、4割ぐらいになったが、5割を目指していきたいのでこのような制度を作った。

B委員

(P65) コロナ禍でスタジオ室を作ったと記載があるが、これは座学用の部屋なのか。

高知工科大学	スタジオについては、4室構えたが、これは遠隔授業用のスタジオとして小さい部屋をスタジオ化して、基本、講義科目を配信している。
B委員	実験は対面でしているのか。
高知工科大学	はい。実験は実際に行うことが大切だと思うので、注意喚起したうえで、去年の夏休み前から対面で行っている。
E委員	<p>今年119項目あり、社会貢献が21項目、このうち高知県立大学が13項目、高知工科大学が8項目の中で、B評価が3項目、C評価が1項目、高知県立大学はB、Cはない。高知工科大学は、学校の施設を開放していないなど、個別の項目を設けて、コロナ禍を直接当てはめて評価をしていると思うがどうか。一方、高知県立大学はコロナ禍があまり評価に反映されていないのではないかと思うのだがどうか。</p>
高知工科大学	<p>昨年度にこの場でご質問をいただいたときに、私たちにとっては何十年の中の1年なのだが、学生にとっては、たった4年しかないものの中の1年なので、コロナが理由でできないというのは、学生に対して申し訳ないということも含めて、コロナ禍でも目標としていたことができたかどうかで評価する、と申し上げた。今年度はその通り進めたところ、県民の方に対して図書館の開館が全くできず、社会貢献について同じ考え方で評価したらこのような結果になった。</p>
高知県立大学	<p>まず年度計画の立て方が違う。評価の仕方としては、コロナの影響はあるとして、ではどうだったのかと評価した。地域貢献に関しては、コロナ禍前と同じことはできないが、いろんな形で行っていくという視点で評価をしている。</p>
E委員	<p>コロナ禍の評価について、まずは公立大学という法人ありきだと思うが、コロナ対策は法人は法人で行って、大学は大学で行っているのか。</p> <p>高知工科大学は図書館利用、施設利用という項目があるが、それではコロナの影響がある今年の年度計画も同じ項目は同じ評価となるように思うが、これはどのように年度計画を立てているのか。</p>
法人本部	<p>まず、コロナについては、法人として三密をさけるとか、国が掲げている認識と同じものを持っているが、それぞれ大学の特色があって、個々に違うので、法人で細かいところまでの指示や方針はだせない。基本的にはそれぞれの大学で、状況に応じて対応してもらっている。</p> <p>コロナ禍の影響による評価だが、基本としては、年度当初の計画が達成できたかどうかで判断する。つまり、コロナの影響でできなければ、できていないという評価をする。コロナだから仕方がないという評価はしないのが原則である。令和元年度は、年度の途中でコロナが発生した</p>

ので、まさにそのとおり。では、令和2年度の計画を作成するときには、コロナの影響を考えているのか、いないのかによって、評価が変わってくる。そのような形でイレギュラーになっていると思う。

高知工科大学 今年度はコロナの影響があるのがわかっているから、あきらかにできないことは見えている。それを念頭に置いた上で、中期目標、中期計画に近づくためには、年度計画をどうすればよいかという視点で考えている。例えば、香美市の方々に図書館を利用していただく、というのがあがあるが、これは今年度の実現は難しいと思うので、その代わりに、本を見ていただく仕組みを作ることできないかとか、別のやり方で目標を達成するということを念頭において年度計画を作成している。

A 委員 新学群構想が白紙になり、非常に驚いた。特に県議会議員の質問に知事があるように回答したというのが、どうなっているのかと思っている。これについてかまわなければ、どのように総括されて、今後どのような形に向かっていくのかお答えいただきたい。

高知工科大学 データサイエンスは極めて重要な分野だと思っているため、本学で大きく教育ができるような形で進めたいと思っており、準備は進めている。その際に新学群を作るだけではなく、大学全体としてこの教育することが大切なので、大学独自でカリキュラムを改革し始めつつある。新学群を作るということと、新しいカリキュラムで教育するということが、やや混同して見られ、誤解を招いてしまった。コミュニケーションが不十分であったと思う。一番大きな論点は、大学が先走りしたのではないかという点であったかと思うが、大学としてはデータサイエンス教育を進め、できたら新学群を作りたいため、これは大切なことだと説明して、実現に向けて必要な手続きを取りながら進めていきたいと思っている。

次に、財務諸表等について、法人の説明をお願いします。

委員長

・・・説明・・・

法人本部

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

委員長

E 委員

先ほどの実績評価の中で、あうち寮の建設や使用していない教員宿舎の扱いがC評価と記載されており、実績をみると、法人内での調整にとどまっており、関係機関との調整には至っていないとあるが、通常、こういうものを建設する場合には、まず関係機関との調整があって、それを元にして、利用計画などを立てるのではと思うのだが、また別なのか。

法人本部 あふち寮については、新しく建設することで調整はついているが、問題は不用となったものである。教員宿舎については、売却処分をするこ

とで方針は決めている。しかし、法人が売却するのか、県からの出資物なので、一旦県に返して、県で処分するかという細かいことが残っている。考え方として、単発に処分するとうまく処分ができず、安く買いたたかれる可能性がある。あふち寮が新しくなると旧あふち寮が空くため、優良物件と一緒に処分をした方が、もっとよく処分できるのではないかという想いがあり、県との調整が残っているという意味で記載している。監査法人からみれば、いらなくなったものはすぐに処分をしなさいという基本姿勢なため、監査法人からは指摘されている状況である。

D 委員

大学によって入学金などが違っているが、これは法人としてはどのように考えているのか。

法人本部

全く設立の経緯が異なる大学が、一法人化している。全く別の大学なので、それぞれの個性を生かしながら進めたほうがいい。統一すべきものは統一すべきであるが、統一すべきと判断したものでも実際に統一するには相当な労力がある。できるものから随時やっているが、入学金については統一する必要はないと考えている。

委員長

第2期中期目標期間の終了時に見込まれる実績報告書について、高知県公立大学法人から説明をお願いします。

法人本部

・・・全体概要 説明・・・

高知県立大学

・・・高知県立大学 教育・研究・社会貢献の部分 説明・・・

高知工科大学

・・・高知工科大学 教育・研究・社会貢献の部分 説明・・・

高知県立大学

・・・高知短期大学 教育部分 説明・・・

法人本部

・・・第3以降 説明・・・

委員長

ただいま説明があった内容に対して、質問があればお願いします。

E 委員

一番関心があるのは、中期目標の中に中期計画があるが、それについて現状の進捗状況はどうなっているか、まったく着手していないものはないか、逆にすでに終わっているものはないか、それらが一覧でわかる形は難しいのか。文章ばかりなのでわかりづらい。

法人本部

県と相談をする必要はあるが、図式化する方法はあると思う。ただ、現状に追加でやれとなると難しい。

国立大学の監事をしていたときに、公式資料ではなく補足資料として、



E委員 進捗状況がわかるものを出してもらっていた。

法人本部 評価のために必要であるということなら、評価委員会の中で、検討していただき、県と相談してもらえたらと思う。

D委員 高知県立大学が令和4年に認証評価受審に向けた準備を行うとあるが、どの機関で受審される予定か。

高知県立大学 大学基準協会を計画している。現在、自己点検評価の報告書を作成しているところで、来年度受審する。

D委員 工科大学は、工学の評価機構のJABEE（ジャビー）の評価は受けてますか。

高知工科大学 JABEEは受けていない。

委員長 高知県公立大学法人による説明と質疑応答は以上とする。

・・・法人退席・・・

高知県公立大学法人の業務実績報告書、財務諸表等及び第2期中期目標期間の終了時に見込まれる実績報告書について、意見・質問あればお願いしたい。

特にないようであれば、後日送付される各評価書案について、意見がある場合は8月24日（火）までに事務局までお知らせいただきたい。

本日の会はこれで終了する。（了）